

かさまつ

青少年育成町民会議だより

はじめてみませんか…



地域の

ふれあい



田代西町内会 三世代ふれあいグラウンドゴルフ大会

恒例の「三世代ふれあいグラウンドゴルフ大会」を、5月11日に開催しました。グラウンドゴルフに親しまれているおじいさんやおばあさん、毎年参加されているお父さんやお母さんに囲まれて、初めて体験する子どもたちがグループを組んで一緒にホールをまわりました。ボールがうまくホールポストに入らない子どもたちには、「がんばれ」と声援が飛び交い、熱心に応援する姿が見られました。おじいさんおばあさんは、日ごろの練習の成果が出て、とても上手でした。年に一度の参加なのにホールインワンされた方には、大きな声援があげられました。この大会を通して、普段お話しすることが少ない、世代を超えた町内の皆さんと交流することが出来ました。これからも、より住みよい町を目指して活動していきたいと思えます。

青少年育成部会

平成26年6月28日開催

第36回 少年の主張大会

最優秀賞に選ばれた2名の方は、少年の主張岐阜県大会 岐阜圏域選考委員会に推薦されました。(敬称略)

最優秀賞



部活の仲間
宇佐美 慶典

中学生の部



優秀賞

道家 浩圭 岩田 響希 嶋田 莉子 石田 晴香

最優秀賞



これからのエネルギーについて
岩田 幸奈

小学生の部

優秀賞



松枝小 6年
河合 瞬也

松枝小 6年
山中 希美

笠松小 6年
藤澤 旺佑

笠松小 6年
徳宮 目菜

下羽栗小 6年
篠田 翔太

下羽栗小 6年
長田 真依

青少年育成部会

青少年の作文 テーマ「家庭・学校・地域」

最優秀賞



新しい家族
松枝小3年
松倉 靖空



地域のひとからの「お帰り」
笠松小6年
浅井 日々希



ふれあいの町 笠松
笠松中3年
棚瀬 大城

優秀賞

- 「はじめまして、よろしくお願ひします」
下羽栗小 1年 近藤 大貴
- わたしのかぞく
笠松小 2年 萩原 奈愛
- ぼくのサポーターさん
松枝小 4年 鷺見 和真
- 「みんなの支えで、成長する」
下羽栗小 6年 河田 真奈
- お互いに助け合う家族
笠松中 1年 松原 悠馬

(敬称略)



▲笠松中央公民館前にて出発式



▲トミダヤ(長池)での啓発活動



▲笠松駅での啓発活動



▲ピアゴ(米野)での啓発活動

街頭啓発活動

青少年によい環境を

青少年育成部会

青少年の非行・被害防止全国強調月間にあわせて、7月6日(日)「トミダヤ(長池)」「ピアゴ(米野)」、7月17日(木)「笠松駅」で街頭啓発活動を行いました。準備を岐阜工業高校の皆さんにご協力いただきました。

地域活動部会

三世代ふれあい活動



笠松町一斉 **あい・あい・あいラジオ体操**
 平成26年8月3日(日) (会) (Eye) (挨拶)

今年度のスローガン「つながりを強くする地域の活動を推進しましょう」のもと「第1回あい・あい・あいラジオ体操」を3校区ごとに集まり行いました。

ラジオ体操に参加することで

- 会** 子どもと大人が出会い
- Eye** 目と目を合わせて
- 挨拶** 挨拶をかわす

お互いが顔見知りになり
 地域での心のつながりをつくりましょう。



▲笠松小学校区



▲松枝小学校区



▲下羽栗小学校区

家庭部会

平成26年度

二分の一成人式

親から子・子から親への手紙

第九号



二分の一成人式

～親から子へ・子から親への手紙～

家庭部会では、親子の絆を深め合う取り組みとして、今年も10歳を迎える児童とその親がお互いに手紙を送り合う「二分の一成人式」を行いました。心あたたまるメッセージの一部を紹介します。

親から子へ

生後3か月から保育園に通いはじめ、他の子達より少し早く世の中に出ることになりました。でもたくさんの先生やお友達に出会う機会も増え、たくさんの人達に見守られ愛され成長してきました。もう10歳になるのですね。

たくさんのお会いのおかげで、人の気持ちが良くわかるとてもやさしい女の子に育ってくれたと思っています。

まわりの人のことをよく考え、たまに我慢をしなければならないこともあるけれど、そんなさげないやさしさ…ちゃんと見てますよ！これからもたくさんの出会いの中でお友達を思いやる心を忘れず、心に残る楽しい思い出をたくさん作ってください。

子から親へ

お母さん、わたしを生んでくれてありがとう。お母さんはいつも会社でいそがしいけど、ごはんをつくらたいしてやさしいなと思いました。わたしはもう10さいになったのでまわりの人をいじめたいせめてやさしい人になりたいです。お母さんは、わたしのしょう来を考えてすごしてくれうれしかったです。あと10年で20さいになります。わたしはお母さんみたいになりたい、おいしいごはんをつくらたい、やさしくできる大人になりたいです。

親から子へ

“二分の一成人式”おめでとう。

10年間、たくさんの思い出ができたね。たくさんの人に助けられ、支えられながら、いろいろなことに一生懸命頑張ってきたと思います。

今の自分があるのは、今まで出会った方々のおかげでもあります。これからもいつも感謝の気持ち、思いやりの心を忘れず、自分の思う道を進んでいってください。本当の成人式までには、様々な苦難があると思います。お父さん、お母さん、お姉ちゃんにどんなことでも相談してください。みんな、あなたのことが大好きだからね。

これからも、たくさんの思い出を家族みんなで作ろうね！

子から親へ

お父さん、お母さん、お姉ちゃんへ
いつもなやみごころがあると、いそがしくても自分のことのようにわたしの話を聞いて相談のつてくれてありがとう。とても気持ちがあつきいて心があちつきまます。

この家族で本当によかったなあと思います。家族みんなできると、とても楽しいです。

これからもたくさん、わたしの話を聞いてね。よろしくおねがいします。

青少年健全育成講演会を開催しました



テーマ『薬物乱用(危険ドラッグ)の現状と危険性』

講師 岐阜羽島警察署生活安全課 課長 長尾 安徳様

日時 平成26年11月17日(月)

危険ドラッグが原因による事件、事故が後を絶たない。薬物乱用がもたらすのは地獄の苦しみであり、警察では危険ドラッグ撲滅に向けた対策に全力で取り組んでいる。

また、携帯電話でインターネットを使用する18歳未満の青少年にはフィルタリングサービス(有害サイトアクセス制限)を利用させることが保護者に義務付けられていることなどをお話しされました。

編集後記

「連携」と「チームワーク」

スポーツの世界に限らず、日常の生活や職場においても、「生産性」を高めることは重要だと思います。情報の共有やスピード感を持った行動には「連携」が必要とされます。また、各々が適材適所で行動する事で支えあい、補う事ができ、目標に向かって一丸となつて取り組むためには「チームワーク」が必要となります。今年度、新規事業の「会内・会外」の「チームワーク」は町内会長さんをはじめ、育成員さんと公民館との連携、運営サイドのチームワークが素晴らしく、心温まるひと時を過ごさせて頂きました。次回へと繋げていきたい事業です。

「つながりを強くする地域の活動を推進しよう」を合言葉に、子ども達の成長を見守りつつ、地域の一人として、挨拶から始まり、顔見知りの関係を築き、心が繋がる出会いをつくりましょう。まずは大人から、そして自分から。(昌)